

田原市議会傍聴記

④

地方政治
クリエイト 伊藤 秀昭

6月度田原市議会の冒頭に所信表明を行い「元氣な渥美半島」を訴えた山下政良新市長。

就任4カ月の山下丸が、どのようにして、海原に飛び出して行くのか、大いに期待され、注目されることろです。

◎遊休温室
岡本禎徳氏(自民クラブ)は施設園芸農家の経営状況の厳しさを訴え、使用されなくなっている温室―遊休温室の有効利用について問題提起した。

◎喫煙率低減
健康都市を目指す
田原市としては、市民の喫煙率を下げる
ことが喫煙の課題である
と質問したのは
廣中清介氏(市民クラブ)。

施設園芸、地域医療など厳しい現実

たが、登録は11件、売買希望の登録温室は2地区にとどまっている結果になっている。このパークは新規就農者や農地拡大を考え、農家と空き温室の有効活用を図るマッチングシステム。そのための基本

健康都市を目指す
田原市としては、市民の喫煙率を下げる
ことが喫煙の課題である
と質問したのは
廣中清介氏(市民クラブ)。

いまいなので、問題提起を弱いものにしてきた。
◎人が生きる
辻史子氏(公明)は地方創生の「人口ビジョン」総合戦略策定」の取り組み状況について、その進捗、総合計画との整合性、目標設定、新

型交付金などについて質問した。
質問の中で辻氏は「経済も、雇用も大切。しかしその真ん中にあるのは、人も人であり、施策の全てがめざすのは人の幸せでなければならず、人が笑うまち―田原市に

それは、一つ一つの質問が断片的になつていて、答弁内容からの展開がないまま、次々と質問を羅列しているのに過ぎないからである。
◎地域医療
大竹正章氏(市民クラブ)は医師の高



師が減れば減るほど、地域医療崩壊は確実に加速していく。
東三河広域連合エリアに広げて総力で取り組まなければならぬ重大な課題である。
◎道路維持管理
長神隆士氏(自民クラブ)は市道などの損害賠償を未然に防ぐために道路の維持管理対策などに市民が積極的に参加できる仕組みについて質問した。

となる情報の整理がなされていない。あいまいすぎはしないか。
岡本氏は1月の初当選以来、初の一般質問となり、傍聴席には支援者が詰めかけ、初質問を見守った。

質問を通じて、たばこ税が重要な市税であり、市内でタバコを生産している農家に配慮してか、喫煙に対する姿勢がある。

高年齢化とも合わせ深刻な医師不足。医師が減れば減るほど、地域医療崩壊は確実に加速していく。

高年齢化とも合わせ深刻な医師不足。医師が減れば減るほど、地域医療崩壊は確実に加速していく。

長神氏は道路パトロールだけでなく情報機器を活用した市民からの連絡に、迅速に対応する仕組みの必要性を訴えたが、当局は半田市の取り組み状況からも課題も多いことなどから、市民からの連絡システムが有効なツールとなるような取り組みを構築し、市民の声をまっちづくりに生かしていきたいとした。